

# 園長のひとり言

## 7月のひとり言 ～「子どもが育つ魔法の言葉」～

### ～子は親の鏡～

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭に育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレル子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭に育てば、子どもは、この世の中はいいところだと  
思えるようになる

ご紹介した言葉は、米国出身のドロシー・ロー・ノルト氏の著書「子どもが育つ魔法の言葉」の中にある「子は親の鏡」という詩です。世界37か国語に翻訳され、世界中で多くの共感を呼びました。

子どもは、日々、大人の姿、言葉から多くを学びます。だからこそ私たち大人の言葉かけの大切さがよくわかります。この詩は子育てのための知恵の言葉です。保護者の皆様も、この言葉を子育てのヒントにして下さい。